

安保破棄ニユース

No. 526
2021. 2. 12

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六―六七六三―三三三三
FAX 〇六―六七六三―三八三六
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

軍事同盟に代わる 平和の枠組みを、 今こそ！

事務局長：守山 禎三

1月17日の夜、政府に衝撃が走る事態が起りました。

東シナ海や南シナ海で覇権主義的行動を続ける中国に対抗して米軍と一体化し、自衛隊の部隊・基地の増強が急速に進められること
によって、軍事的緊張が高まっている南西諸島の宮古島で行われた市長選挙において、玉城知事を支える「オール沖縄」勢力と一部の保守勢力の共同組織「ワンチームみやーく」

く」が擁立した元自民党県議で無所属の座喜味一幸氏が、現職で自公推薦の候補（オール沖縄）に対抗して組織された保守系市長でつくる「チーム沖縄」の会長）を破って当選し、「市民の理解を得られない安全保障はない。国に求めるべきものは求める」と語ったのです。

この宮古島での勝利は、3期12年続いた現市長に対して、市の新庁舎建設に関わる特定業者との癒着疑惑や、不法投棄ごみ問題などで市民の不満が高まり、合わせて、一昨年2月に実施された辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票では宮古島での実施を妨害。また、自衛隊部隊・基地の増強の一環として、政府が進めている陸自駐屯地の整備や住宅地に隣接する弾薬庫建設においても、市民の不安の声を聞こうとせず、工事の強行を容認していることへの不信などから、市政刷新を求める声が高まり、問題意識を共有した「オール沖縄」と保守の皆さんが様々な意見の違い・垣根を越えて「ワンチームみやーく」を組織して立ち上がり、たたかった結果の勝利です。

続いて1月31日には、種子島の西之表市長選挙が行われ、菅政権による米空母艦載機離着陸訓練の移転など馬毛島の日米一体の軍事基地化に反対する現市長八坂俊輔氏が再選を勝ち取りました。

自民党が市商工会長を候補者に立てて一騎打ちの選挙が戦われ、投票率も前回を大きく上回る80・17%という中で、明確に「基地建設反対」の民意が示されたことは重要です。

そして2月7日に行われた浦添市長選挙ですが、ここでは、惜しくも、大きな焦点となった米軍那覇軍港の浦添への移設に反対してたたかった伊礼悠記氏が現職で自公推薦の松本哲治氏に敗れました。

様々な勝敗を分ける要因はありますが、その根底には、日本政府により何度も「捨て石」にされてきた歴史が有り、政府による振興策と基地問題をセットにした「アメとムチ」の政策によって、沖縄県民が分断されているという事実があります。

そのことによって、前回の名護市長選挙でも惜敗したと言えますが、しかし、その年の秋に行われた沖縄県知事選挙においては、「平和で誇りある豊かな沖縄」の実現を誓い、「米軍基地は沖縄経済の発展にとつて最大の障害要因」ということを知らせ、「辺野古新基地建設反対」を正面に掲げて戦った玉城氏の勝利をかち取っています。

米軍から返還させた基地跡地がいかに大きな経済効果を生み出しているかという実例を知らせながら、具体的なビジョンを示すことが求められているのではないだろうか。

そのことが、今回の浦添市長選挙の出口調査でも示されています。市民の皆さんが投票で重視したのは、やはり基地問題。しかし、いまコロナ禍の中で子育て・教育、コロナ対策と共に、特に相手候補に投票した人の1〜4もが経済活性化に注目しています。

いま私たち全国の市民が必要とするのは、軍事による国家の安全保障ではなく、人間の安全保障です。

再び戦争はしないと世界に誓った日本国憲法の下、核兵器禁止条約を批准し、世界の人々と共に真の世界平和を実現することが出来る、当たり前個人の尊厳を尊重する政権の実現を目指して、共にたたかきましょう。

1月の宣伝行動

1月は、22日が核兵器禁止条約の発効日という歴史的な日ということで、大阪安保23宣伝行動としては行わず、大阪原水協の宣伝行動へ大阪安保としても全面的に結集して宣伝行動を行いました。

なんば高島屋前で50人が参加しました。

大阪原水協作成のビラをまき、スタンディングと署名の訴えを行いました。あいにくの雨でしたが、道行く人の中には、プラスターに目を向ける人や、立ち止まって弁士の話に耳を傾けている人もいました。署名22筆と1,000円のカンパが集まりました。

この日に先立って、1月18日には、国会の開会日ということで、昼の12時15分から、淀屋橋で、国民大運動大阪実行委員会、大阪憲法会議、大阪安保合同で、国会開会日宣伝を行いました。20人の参加でした。

2月の23宣伝行動は、非常事態宣言下ではありますが、22日月曜日の昼12時から淀屋橋にて行います。体調や、移動に不安のある方は控えていただきつつ、参加可能な方はぜひご参加をお願いします。



国会開会日行動

核兵器禁止条約発効日行動

近畿2府4県安保破棄実行委員会
連続学習講座第1弾

「敵基地攻撃能力 ～軍拡は、なにをめざすのか!？」

2月6日の14時から、『敵基地攻撃能力』軍拡はなにをめざすのか?」をタイトルにオンライン学習会を、近畿2府4県の安保破棄実行委員会主催で開催しました。日本平和委員会事務局の千坂純さんに講師をしていただきました。

各府県ごとに申し込みを受け付け、大阪へは11人の方から申し込みがありました。残念ながら当日は視聴できない方もおられました。全体で27か所で視聴されました。

千坂さんは、敵基地攻撃能力とはどのようなものであるのか。



司会の守山事務局長

という恐ろしい事実、今すでに、このような戦略に基づいて日米合同演習が激化しているということなどを語られました。そして、これからの運動として、このような「敵基地攻撃能力」の危険性を徹底的に多くの国民に知らせていくこと、核兵器禁止条約へ参加する政府をつくることなどを話されました。

今回の学習会は、近畿の安保破棄実行委員会合同連続学習会の第1回目として企画しました。2回目を「沖縄はいま」という内容で、宮古島市長選挙や浦添市長選挙の結果や、辺野古をめぐる情勢の変化などを踏まえて、沖縄の今の状況を地元とオンラインで結んで聞かせていただく予定をしています。詳細が決まり次第お知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

《講師：千坂純さんからの訴え》

◎馬毛島基地建設反対のたたかいを伝える映画製作のためのクラウドファンディングにご協力ください！

1月10日の日本平和委員会の馬毛島軍事基地化ゆるさないオンライン学習交流会でも上映しました。



講師の千坂純さん

た、馬毛島軍事基地化に反対する西之表・種子島市民のたたかいを描くドキュメンタリー映画の製作を支援するクラウドファンディング(インターネットを通じて資金募金運動)が始まりました。川村貴志、未菜ご夫婦が手弁当で市民に密着し制作しているこの映画は、馬毛島の自然と歴史の豊かさや軍事基地化に反対する市民の切実な思い、政府の進め方の道理のなさが、リアルに伝わる素晴らしい映画です。

左記のURLからそのサイトにアクセスすることができます。そのサイトには、現時点で上映できる映画「馬毛島」ダイジェスト版がアップされています。

これは誰でもどこでも自由に上映することができます。

ぜひ多くの方にみていただく機会を広げていただければと思います。

また、このサイトには、馬毛島基地化問題をめぐる歴史的経過や問題点を伝える情報が盛り込まれています。

このサイト自身を多数の人に見てもらうことが、運動を広げることにもつながります。ぜひ、全国のみなさんのクラウドファンディング募金へのご協力をお願いすると共に、このサイトを広範な人々に拡散していただきますよう、お願いします。

クラウドファンディングのURL

<https://motion-gallery.net/projects/mageshima>

諸団体の取り組み、当面の予定など

2月

- 13日(土) 安保中央「学習と運動交流のつどい」(13:00~16:00 オンライン)
- 16日(火) 「あなたの知らない沖縄」《ゆいまーる和歌山リモート講演会 講師：前泊氏》(18:30~)
- 20日(土) なくせ原発大阪集会プレ企画(14:00~16:00 オンライン)「原発事故10年、今も続く被害と裁判」
- 22日(月) 大阪安保23 宣伝行動(12:00~13:00 淀屋橋)

3月

- 3日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~)
- 6日(土) 「なくせ原発大阪集会2021」(14:00~16:00 オンライン)
- 17日(水) 近畿安保合同オンライン会議(14:00~)
- 23日(火) 大阪安保23 宣伝行動(12:00~淀屋橋)

4月

- 3日(土) 2021年度大阪安保「総会」
※詳細は決まり次第お知らせいたします。
- 23日(金) 大阪安保23 宣伝行動(12:00~淀屋橋)